

イタリアの世界遺産

- 断崖に家々が並ぶアマルフィ海岸
- マティーラ洞窟住居

松島 成美

アマルフィ海岸（世界遺産）

- ・断崖絶壁に沿って色とりどりの家々が並ぶ、絵画のように美しい海岸地域です。
- ・ポジターノやアマルフィなどの港町は、地中海貿易で栄え、独自の建築や文化を育みました。
- ・青い海、段々畑のレモン、歴史ある大聖堂が調和し、「世界で最も美しい海岸のひとつ」と称されています。



【名所編】断崖絶壁アマルフィ海岸、世界で最も美しい
海岸線ドライブー Amalfi coast drive

10分



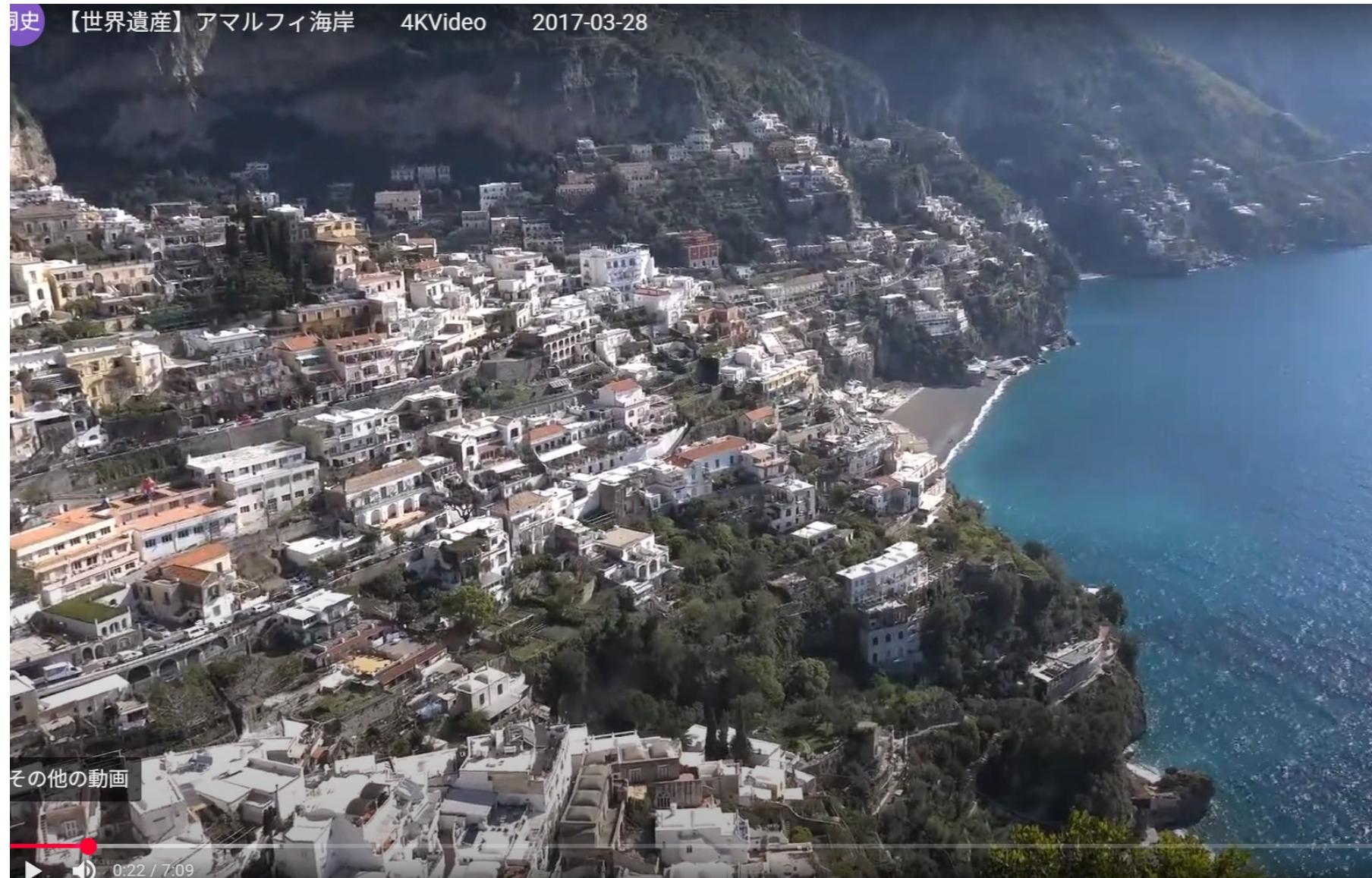
一生に一度は行きたい！世界一美しい海岸アマルフィ



Bing 動画

【世界遺産】アマルフィ海岸 4KVideo 2017-03-28

7 分



マテーラの洞窟住居（サッシ）と岩窟教会群（世界遺産）

- ・マテーラは、石灰岩を掘って作られた洞窟住居（サッシ）が連なる、非常に珍しい町です。
- ・先史時代から人が住み続けてきたヨーロッパ最古級の居住地の一つで、山肌に洞窟の家や教会が立体的に重なった景観は圧巻。
- ・1950年代までは人々が生活しており、その歴史と文化的価値が高く評価されています。
- ・近年は映画のロケ地としても注目されています。

マテーラの洞窟住居 | イタリア 世界遺産 | 阪急交通社



阪急交通社の上記資料を引用

イタリア南部に位置する町マテーラ

- ここは、グラヴィーナ渓谷の斜面の岩肌を掘って造られたサッシ（サッシとは岩を意味するイタリア語サッソの複数形）と呼ばれる洞窟住居群が約3000から4000あり、何層にも重なって渓谷を埋め尽くす壮観な景色が広がります。
- このマテーラの歴史は古く、この地に人類が住み着いたのは約7000年前と言われています。

歴史

- 8世紀から13世紀にかけ、イスラム勢力の迫害を逃れたキリスト教徒の修道士たちは、洞窟内に130余りの教会や住居を造り、この地に移り住むようになります。
- 15世紀には地中海交易により繁栄し、その後1663年には、当時所属していたプッリヤ州オートランドからバジリカータ州に吸収されると同時に州都となり、最盛期を迎えます。
- しかし、1806年に州都がポテンツァに移動し、行政機能が失われると、町は徐々に衰退していきました。
- また人口の増加による住居の不足もあって、多くの貧しい人々は家畜とともに暮らすのを余儀なくされ、衛生面の悪化による死亡者が多発するほど深刻なものでした。

歴史の続き

- ・この状況を見かねた政府は、1954年に法整備となる特別法を出し、都市調整計画に基づいて建設された新市街地へ住民を強制的に移住させました。
- ・結果、サッシ地区は無人の廃墟と化し、政府が保有する地区となつたのです。
- ・こうした歴史背景を持つサッシ地区は、中心にあたる「チビタ」、そこから南北に分かれて「サッソ・カヴェオーン」、「サッソ・バリサーノ」の3つに分かれます。
- ・チビタ地区にはロマネスク様式の大聖堂、ドゥオモがあり、その広場から眺めるサッソ・バリサーノ地区の眺めは圧巻です。
- ・またサッソ・カヴェオーン地区にはマドンナ・デ・イドリス教会をはじめ一見の価値ある洞窟教会が建ち並びます。

【4K】世界遺産マテーラ街歩き

28分



イタリアITマテーラの洞窟住居に潜入。凄いとこだった#
マテーラ#イタリア #ヨーロッパ旅行

15分

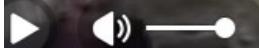


マテーラ散策

2分



再生 K



2:14 / 2:19

Made With
VivaVideo

イタリアの世界遺産

- 断崖に家々が並ぶアマルフィ海岸
- マティーラ洞窟住居

終わり

松島 成美

2025年12月12日（金）

世界遺産を見る会

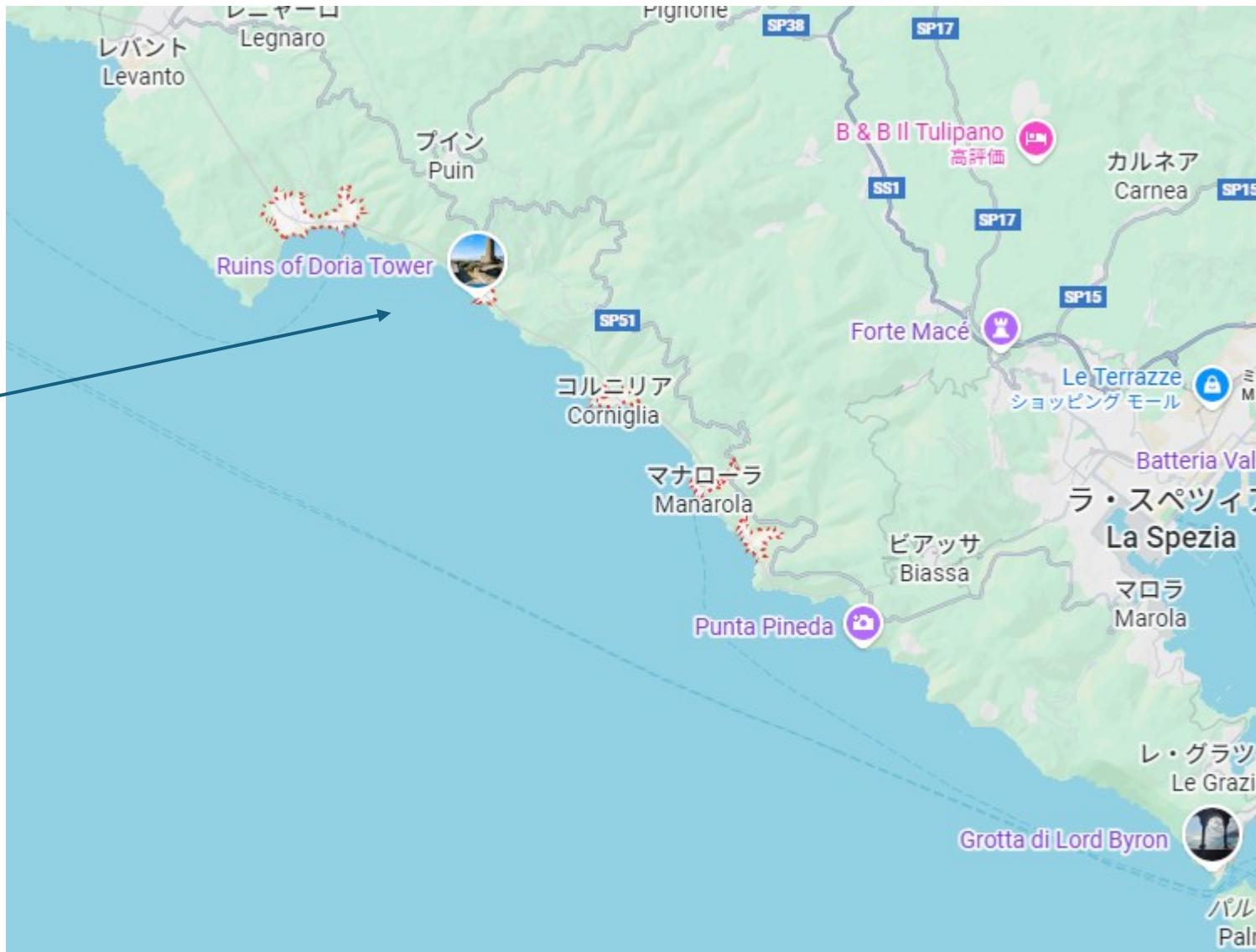
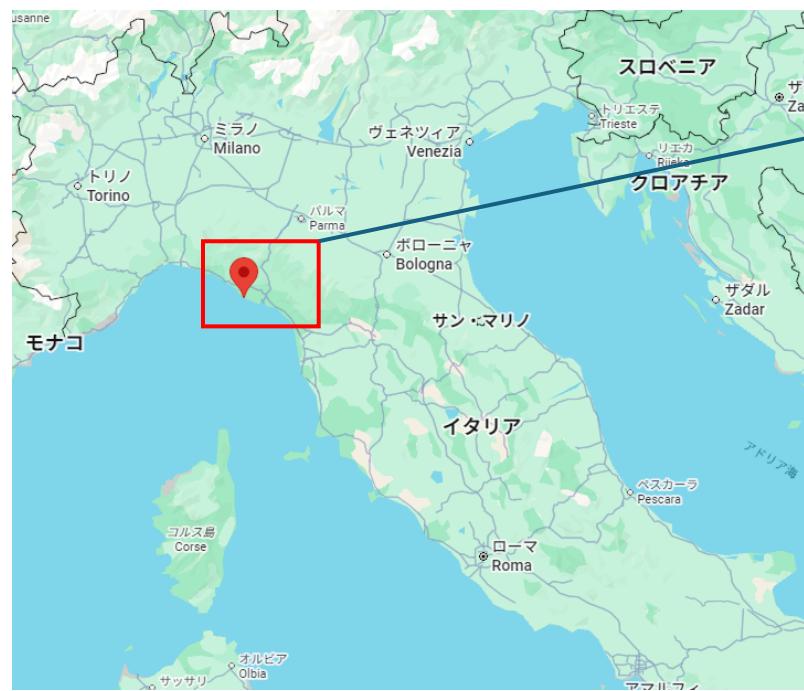
イタリア北西部の世界遺産

- チンクエ・テッレ
- ピサのドゥオーモ広場（ピサの斜塔）

チンクエ・テッレ

- 断崖絶壁に沿って並ぶ5つの村（モンテロッソ、ヴェルナツツァなど）が作る独特的の景観で知られます。
- カラフルな家々、海に落ちるような畠、細い路地が中世そのままの姿を残します。
- 険しい地形を利用し、人々が段々畠や漁業で生活してきた「人間と自然の調和」が評価され、文化的景観として登録されています。

チンクエ・テッレ

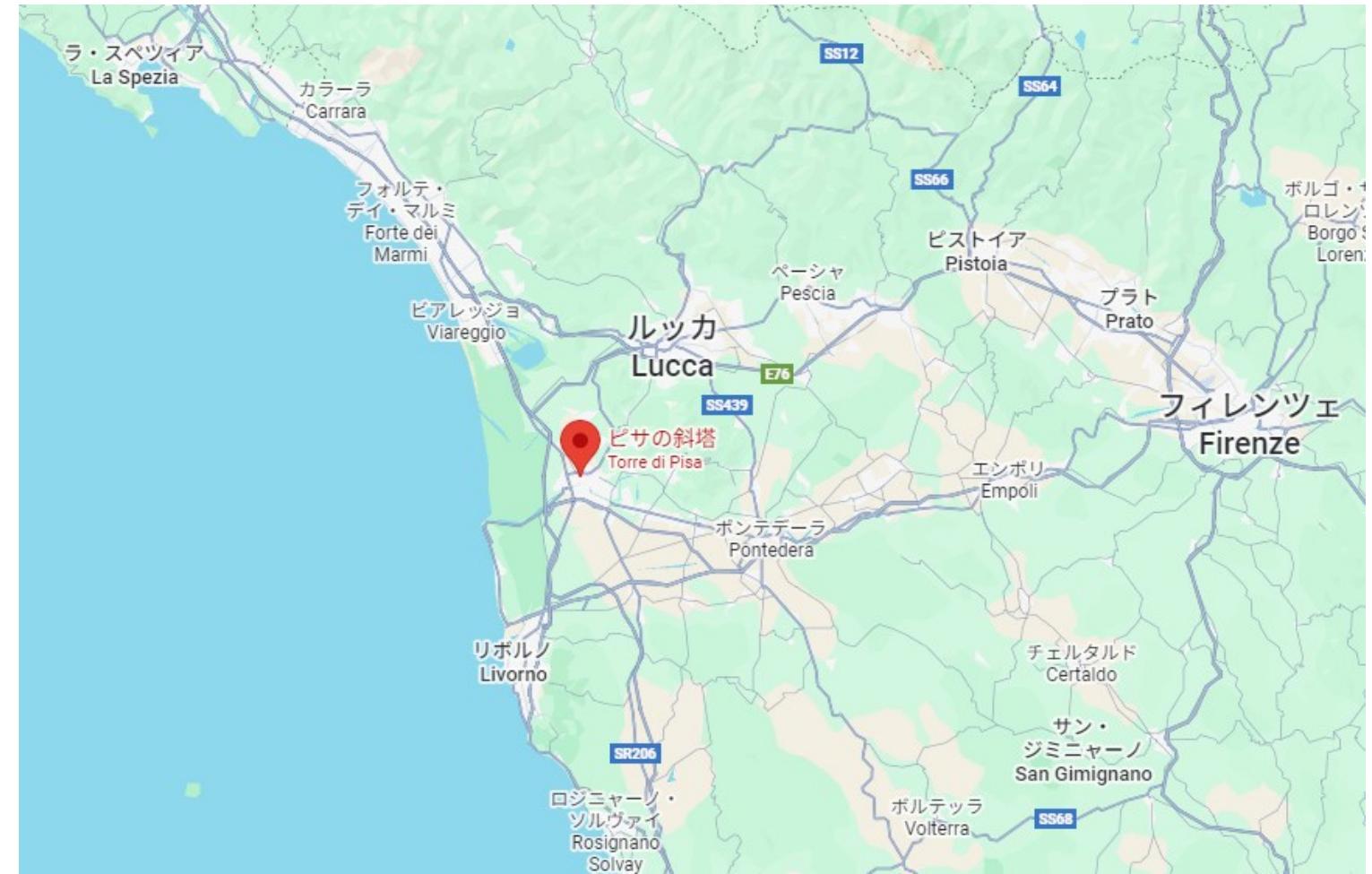
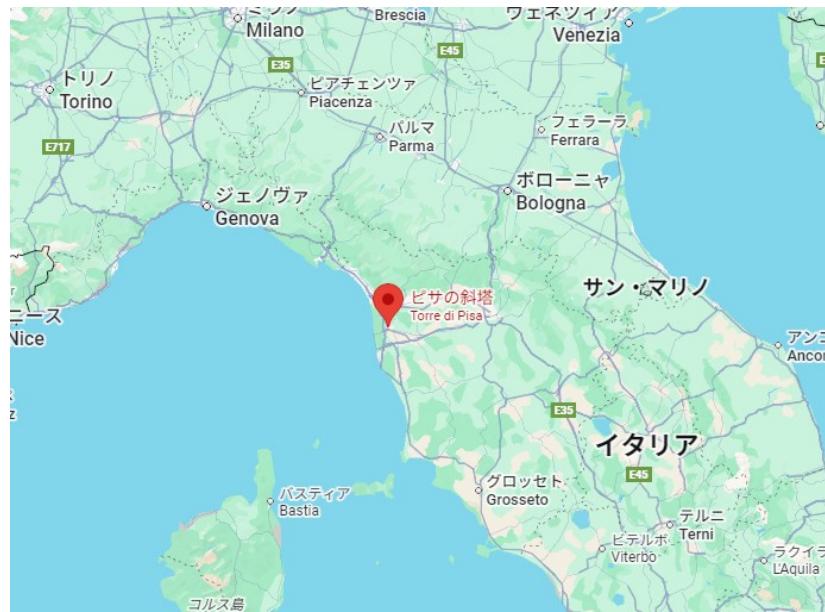


チンクエッテとその先の美しさ!! (イタリア) -
YouTube



チヌエラの 5 つの村には、もともと

ピサの斜塔



ピサのドゥオーモ広場（ピサの斜塔）

- 斜めに傾いた塔で世界的に有名な遺産。
- 大聖堂、洗礼堂、斜塔、墓廊の4つから成り、白い大理石を使ったロマネスク建築の傑作です。
- 特に斜塔は地盤沈下により建設途中から傾き、補強工事を経て現在は安全に見学できます。
- 当時の宗教都市としての栄光を今に伝える場所です。

ピサのドゥオーモ広場（「奇跡の広場」）

- ピサ大聖堂・洗礼堂・斜塔・墓廊（カンポサント）の四つの宗教建造物から成る壮大な聖域で、イタリア・ロマネスク建築の最高傑作とされています。
- 白い大理石をふんだんに使い、優雅な円柱やアーチを重ねた建物群は、11～14世紀にかけて整備されました。
- 特に有名な斜塔は柔らかい地盤による沈下で傾き、建設中から傾斜が進んだことで世界的な象徴となりました。
- 近年の補強により安全に見学でき、内部にも登ることができます。広場全体が調和した美しさをもち、中世ピサ共和国が海洋国家として栄えた時代の力と信仰を象徴する、非常に重要な文化遺産です。

【イタリア観光】世界遺産ピサの斜塔に登ろう！観光地
でも外さないお勧めレストランの紹介あり



イタリア北西部の世界遺産

終わり